

## 総務省「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞！

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、総務省「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞しました。

当社は、引き続きテレワークを活用し、効率的かつ柔軟な働き方を実現することにより、総労働時間の削減ならびに家庭と仕事の両立支援をいっそう推進していきます。

### 1. 総務省「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」について

- ・ 総務省は、2015年度から、テレワークの普及促進を目的として、テレワークの導入・活用を進めている企業・団体等を募集し「テレワーク先駆者」および「テレワーク先駆者百選」として公表
- ・ 「総務大臣賞」は、今年度新たに創設された賞であり、「テレワーク先駆者百選」として公表された企業のなかから、模範とすべき先駆的な取り組みを行なっている企業に対し授与される最高賞



### 2. 「総務大臣賞」受賞理由

- ・ 管理職を中心にテレワークのトライアルを実施し、利用環境を整備するなど、テレワーク導入手法に汎用性があり、他企業も模範としやすい事例であり、かつ実施規模が大きいこと
- ・ 先行実施のモバイルワークのノウハウを活用しつつ、利用者アンケートを複数回実施することで、利用者の目線に立った開発や柔軟な運営を行なっていること

### 3. 当社のテレワークに関する主な取り組み・導入効果について

#### (1) 主な取り組み

- ・ モバイルワークである営業職員の営業用端末の活用を通じて蓄積されたセキュリティ対策のノウハウをテレワークに活用
- ・ 2015年1月から利用者の上司にあたる管理職を中心にテレワークのトライアルを実施し、管理職に効果を実感してもらうことで、テレワークが普及しやすい環境を整備。2016年4月から本格導入を開始。2016年9月時点での利用登録者は、32,463人（うちモバイルワーク利用の営業職員31,201人、職員1,262人）
- ・ 育児や介護で休職している職員が、社内のイントラネットを閲覧可能とするシステム開発を行なうことで、テレワークを復職支援に活用
- ・ 利用者アンケートを複数回実施するなかで、在宅用端末の持ち運びが不便であるという声があったことから、自宅PCを利用した在宅勤務システムを開発するなど、利用者目線で利用環境を整備

## (2) 導入効果

- ・ 自宅や出張先において業務が可能となったことにより、空き時間の有効活用や、テレワーク利用時とオフィス出勤時の業務を分け、最適な場所と時間を選んで仕事を行なうなど、ワーク・ライフ・バランスの進展や、業務効率化・生産性向上が実現

### (利用者アンケートの結果)

ワーク・ライフ・ バランスの進展	・ 利用者全体の約7割が通勤時間の負担が軽減したと回答 ・ 利用者全体の約半数が家庭と仕事の両立がしやすくなったと回答。柔軟な勤務が可能となることで、両立支援が前進
業務効率化・ 生産性向上	・ 管理職の約85%が、業務効率化を実感し、約90%がテレワークにより働き方の改善ができると回答 ・ 利用者全体の約8割が、業務が効率化したと回答

### (ご参考) 「テレワーク推進企業ネットワーク」への参加について

- ・ 当社は、総務省と厚生労働省が連携し、テレワーク導入企業の普及拡大をめざし立ち上げた「テレワーク推進企業ネットワーク」に参加
- ・ 「テレワーク推進企業ネットワーク」は、総務省「テレワーク先駆者百選」および厚生労働大臣表彰「輝くテレワーク賞」受賞企業等のなかから参加企業を募集し、技術的対策や社内浸透のための工夫など、今後、テレワークの導入を検討している企業が参考にできる具体的な取組みを紹介するネットワーク

### 「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」表彰式の様子



以上